

やまぐち自然共生ニュース

No. 15

やまぐち自然共生ネットワークは、県内で自然環境の保全活動や自然とのふれあい活動などを行っているグループや個人のネットワークです。

私たちは自然環境との共生によって、素晴らしい自然環境を次世代に伝えていきます。

■ 行事の実施概要

○平成30年度通常総会及び交流行事

◇実施日：6月2日（土） 天候：晴れ

◇参加者：34名 ◇場所：山口県旧県会議事堂 議場



今年は役員改選の年であり、総会に先立ち、会長交代式及び新役員の紹介を行いました。4年間にわたり当会長を務められ、今年度より顧問に就任された白井啓二顧問から、中村裕三会長へと新たなバトンが渡されました。他役員の就任・退任については次ページをご覧ください。



中村会長、来賓の窪川自然保護課長の挨拶があり、続いて、会長表彰を行いました。今年度は、永年にわたり自然環境保全実践活動に努めてこられた下松市の吉川洋さんが受賞され、表彰状、記念樹のアカマツが贈呈されました。（詳細は次ページ）

総会に提出された5議案は、議長に選出された中村会長の進行により審議され、いずれも満場一致で承認されました。



昨年度の会計報告を次ページに掲載しています。

その後、山口市環境政策課杉本課長より山口市の環境への取組みについて、県自然保護課山本主任技師より樫野川干潟の里海再生の取組みについて、当会員である中村義博さんより森林セラピーとしての活動について発表をいただきました。山口市内での取組みとして報告していただきましたが、それぞれ大変勉強になるものでした。

午後からは交流行事として古地図を使つての市内散策を、山口市観光ボランティアガイドの会のガイドで実施し、参加者の方はそれぞれ山口市の自然と歴史を感じることができたのではないのでしょうか。暑い中でしたが、全ての日程を無事終えることができました。ご協力ありがとうございました。



草バッタ
草野隆司さん作

平成29年度 収支決算報告

【収入の部】				
費目	予算額	決算額	比較増減	内 訳
前年度繰越金	133,817	133,817	0	
会費	179,000	150,000	▲ 29,000	うち過年度17千円、次年度以降9千円
賛助会費	9,000	0	▲ 9,000	
助成金	0	0	0	
事業費収入	390,000	192,300	▲ 197,700	
給金	50,000	0	▲ 50,000	美祿市で開催(8月3日)
リレーミーティング	280,000	192,300	▲ 87,700	美祿市及び山口市で開催(8月3日・4日)
自然観察会等	60,000	0	▲ 60,000	
雑収入	83	0	▲ 83	預金利息
合 計	702,000	406,117	▲ 295,883	

【支出の部】					
費目	予算額	決算額	比較増減	内 訳	
事業費	810,000	381,477	▲ 428,523		
交流活動	初会	50,000	23,223	▲ 26,777	表彰経費等
リレーミーティング	280,000	203,373	▲ 76,628	交流会、宿泊代、保険料等	
自然観察会等	60,000	0	▲ 60,000		
広報活動	会報	200,000	115,818	▲ 84,182	印刷料、送料
ホームページ制作料	20,000	19,064	▲ 836	サーバー費用等、更新費等委託料等	
経費	30,000	8,700	▲ 21,300	コピー代、消耗物品等	
子償費	62,000	0	▲ 62,000		
合 計	702,000	370,185	▲ 331,815		

(収入額) (支出額)

※翌年度繰越見込 466,117円 - 370,185円 = 95,932円

【監査報告】

規約第17条の規定に基づき、平成29年度事業報告、収支決算書及び関係書類により監査を行った結果、適正に処理されていることを認めます。

平成30年度 やまぐち自然共生ネットワーク役員

役 職	新	旧	
会 長	中 村 裕 三 (山口県樹木医会)	白 井 啓 二	
副 会 長	久保田 啓子 (あなたとNAGATOを結び隊代表)	久保田 啓子	
	大 田 和 彦 (山口県自然観察指導員協議会会長)	中 村 裕 三	
理 事			
経理・企画担当	早 川 善 章 (山口県樹木医会)	森 田 元 志	
広報・会計担当	藤 本 裕 子 (山口県職員)	藤 本 裕 子	
地 域 担 当	西郷・柳井 (山口県・山口)	白 井 啓 二 (錦川流域ネット交流会代表世話人)	白 井 啓 二
	森田 (山口県・山口)	森 田 元 志 (錦川オオサンショウウオの会事務局長)	—
	高 岡 (山口県・山口)	岡 谷 政 宏 (NPO法人 水環境地域ネットワーク代表)	岡 谷 政 宏
	大田 (山口県・山口)	大 田 和 彦 (山口県自然観察指導員協議会会長)	大 田 和 彦
	中村 (山口県・山口)	中 村 裕 三 (山口県樹木医会)	中 村 裕 三
	山口・防府 (山口県・山口)	岡 秀 夫 (熊野川流域連携推進協議会)	岡 秀 夫
	村山 (山口県・山口)	村 山 隆 (やまぐち水辺交流会)	—
	宇部・美祿 (山口県・山口)	嶋 田 紀 和 (もとやま山歩会会長)	嶋 田 紀 和
	本島 (山口県・山口)	本 島 忠 興 (秋吉台パークボランティアの会会長)	本 島 忠 興
	下関 (山口県・山口)	杉 村 晋 幸 (豊北町自然観察指導員協議会)	杉 村 晋 幸
下 関	徳毛 (山口県・山口)	徳 毛 伸 自 (財)下関21世紀協会理事長)	大 迫 芳 彦
	藤・長門 (山口県・山口)	—	小 手 巻
	萩 (山口県・山口)	萩 野 隆 司 (山口県樹木医会)	堀 成 大
	久保田 (山口県・山口)	久保田 啓子 (あなたとNAGATOを結び隊代表)	久保田 啓子
下 関	西岡 (山口県・山口)	西 岡 武 美 (NPO法人 ナベグサ環境保護協会会長)	西 岡 武 美
	榎本 (山口県・山口)	榎 本 正 (秋吉台パークボランティアの会世話人)	榎 本 正
	関村 (山口県・山口)	関 村 修 三 (山口さきどり会会長)	関 村 修 三
下 関	白井 (山口県・山口)	白 井 啓 二 (錦川流域ネット交流会代表世話人)	—
	黒田 (山口県・山口)	黒 田 義 樹 (山口県自然観察指導員協議会顧問)	黒 田 義 樹
下 関	早 川 善 章 (山口県樹木医会)	森 田 元 志	

※平成20年6月1日現在の会員数 団体会員42団体、個人会員97名 (県内8名)

■ 会長表彰・表彰記念樹の贈呈

平成30年度やまぐち自然共生ネットワーク会長表彰は、吉川洋さん（下松市）が受賞されました。交流行事終了後、副賞の記念樹（アカマツ）の苗の植樹を行いました。

吉川 洋さん

＊功績＊

下松市において、荒廃した里山を整備し、復活させる活動を行っている。竹を排除した跡地に山野草を植栽し、チョウの一種であるアサギマダラが訪花する環境づくりを行う等、環境保全と美化活動に長年にわたり取り組んでいる。



記念樹プレート



苗木贈呈、植樹



左から、早川事務局長、吉川さん奥様、吉川洋さん、開村顧問、中村会長、榎崎アツコさん

■ 会員団体の紹介

○日本野鳥の会山口県支部 (所在地(事務局):長門市、活動場所:県内各地)

日本野鳥の会山口県支部は、1934年に発足した日本野鳥の会の支部団体として1965年5月に発足しました。日本野鳥の会は、全国に89の支部があり、会員・サポーター数を合計すると51,419人で日本一大きい自然保護団体です。野鳥を通して自然に親しみ、自然を守る運動を行い、自然と人が共存する豊かな環境づくりを目指し、本部・支部が連携をして活動しています。

山口県支部の会員数は家族会員も含め349人。県内を10地区に分け、地区ごとに幹事、地区委員が選任されており、各地区で探鳥会などの行事を年間51カ所で行っています。また、支部組織として事務局、普及部、調査研究部、保護部、編集部を設け、それぞれの部で、本部との連絡調整、愛鳥思想の普及啓蒙、県内の鳥類調査、希少鳥類及び環境保全、会誌や野鳥だよりの発行などを分担して行っています。



サギ類とカワウの夏ねぐら(山口市秋穂二島)

最近の主な活動としては、県が絶滅の恐れのある野生動植物をとりまとめた「山口県レッドリスト2018」の鳥類部門を担当し、山口県内を512メッシュに区分し、会員の協力により、2年かけて繁殖期と越冬期に現地調査を行い、結果をデータベース化したものを地図に落とし、10年前との比較ができるようにしています。また、県内のガン・カモ調査、シギ・チドリ調査は1982年より継続して行っており、会員各自から提供される観察記録や、調査記録なども合わせると40万件を超えるデータが集積され、それらは10年毎に調査報告書としてまとめられています。全国にある支部の中でも山口県支部の調査、研究は高い評価を受けています。

保護関係では、近い将来野生での絶滅が心配される種として、環境省、山口県が絶滅危惧IBに指定しているブッポウソウに対し、巣箱による繁殖サポートを行い、成果が出始めています。八代のツルの埒整備にも恒例行事として参加しています。

また、公共事業として行われる道路建設、河川改修、ダム建設などに対しては、特に生態系の頂点に位置する猛禽類の生息地の保全を中心に、自然環境に配慮した工事が行われるよう助言しています。

行政、学校、他団体が行う野鳥観察などにおいて、指導者の派遣要請があれば会員が積極的に協力し、バードウォッチングの楽しさを伝え、愛鳥思想の啓蒙啓発に努めています。これら支部の活動や調査の結果は、毎年発行している「山口野鳥」に随時まとめられています。会員外の方で興味のある方は、県内12カ所の明屋書店と宮脇書店1カ所で委託販売をしていますので購入することができます。

近年、高齢化やレジャーの多様性により当会も会員数が減少傾向にあります。ちまたでは、スマホで架空の生き物を探すゲームが流行していますが、自然の中で野鳥を探し、観察する方が断然楽しく、意義があると思うのですが…。もっと多くの人に環境のバロメーターと言われる野鳥に関心を持ってほしいものです。

(文責:野鳥の会山口県支部支部長 原田量介)

情報コーナー

■【予告】「第15回リレーミーティングin宇部」の開催について

下記のとおり開催します。詳細は別途お知らせします。

1. 開催日：平成30年11月17日(土)～18日(日)
2. 開催地：宇部市（会場：アクトビレッジおの、霜降山等）
3. 概要：

▼11月17日(土)

- (1) 活動発表
- (2) 自然観察等（オシドリウォッチング等）
- (3) 交流会 宿泊…持世寺温泉 上の湯

▼11月18日(日)

霜降岳登山 250.2m

*参加費は、～10,500円を予定しています。

行事のみ参加（宿泊、お弁当が不要）の場合は、
無料です。

*雨天の場合、スケジュールを変更することが
あります。



多くの皆さまの参加を
お待ちしております♪



第35回全国都市緑化やまぐちフェア



山口ゆめ花博

明治150年プロジェクト「やまぐち未来維新」の中核イベント

現在、山口きらら博記念公園を会場に「第35回全国都市
緑化やまぐちフェア 山口ゆめ花博」が開催中です！

開催期間は、平成30年（2018年）9月14日（金）から
11月4日（日）までの52日間です。

会場には多くの花が咲き誇り、日本一長い竹のコースター
や日本一高いブランコ等もあります♪

これは国内最大級の花と緑の祭典である「全国都市緑化フェア
（第35回）」で、県内では、平成13年に開催された山口きらら
博以来の大規模な博覧会です。

*詳細は、HPをご覧ください。

<http://yumehana-yamaguchi.com/index.html>

ご家族、ご友人お誘い合わせの上、ぜひご参加ください！！

2018.9.14-11.4

「ゆめの未来公園はじまる!!」



主催：山口県・山口市・公益財団法人都市緑化機構 協賛：国土交通省
2018年9月14日(金)～11月4日(日)・山口きらら博記念公園

■ 新規会員募集中！

山口県の豊かな自然環境を後世に引き継ぐためには、自然環境に関心を持つ仲間のネットワーク
を拡げて、いろいろな情報を共有することが重要です。

自然環境に興味のある方が近くにいらっしゃいましたら、ぜひお誘いください。

やまぐち自然共生ネットワークでは、みなさまからの情報をお待ちしています。

活動報告、活動予定等がありましたら、下記広報担当までご連絡ください。

〔事務局〕

早川 善章

〔広報担当〕 〒758-0851 山口市滝町1-1

山口県自然保護課 藤本 裕子 (TEL 083-933-3060)

E-mail info@yama-kyou.net URL <http://yama-kyou.net/>